

ロータリー親睦活動月間によせて

国際ロータリー
第2660地区

ガバナー

新谷 秀一



今月は今年度最終の月間、ロータリー親睦活動月間です。

ロータリー親睦活動は、ロータリアンが、共通の職業、趣味、娯楽の関心を持つロータリアンの仲間をつくる機会です。ロータリーはさまざまな国や文化から会員が集まるロータリー親睦グループを通じて世界中に広められた「親睦」という概念を土台としています。

このロータリー親睦活動によって、会員は生涯にわたる友情を築くだけでなく、自らの関心を保ち、活動への意欲を一層高めながらロータリーに積極的に関わっていくことができます。

スポーツ、趣味、職業上の関心をはじめ、幅広い職業や趣味を網羅したロータリー親睦活動は100団体近くにのぼり、そのすべてが国際的な親睦、友好、奉仕を深める役目を果たしています。

ここでは同好のロータリアンが特定の関心に対する情熱を分かち合うだけでなく、数多くの親睦グループ・メンバーが自らの趣味や技能を生かして他の人々への奉仕を行っています。(ロータリー親睦活動要覧より)

「親睦」という言葉から、ロータリー親睦活動は単なる遊びの会と誤解され、各クラブの

同好会と混同されがちですが、ロータリーの綱領を推進する国際的な奉仕プロジェクトを展開している「ロータリアン行動グループ」とともに、「世界ネットワークグループ」に属しています。

ロータリー章典(43.010.1)では、「ロータリー親睦活動は、職業的またはレクリエーションの活動を遂行するために結束したロータリアンのグループである。その活動の目的は、共通の関心を持つ人々が友情や親睦を深めることである」とされており。

さらに「親睦活動グループは、R Iから独立して運営されなければならないが、ロータリーの標章の使用を含め、R Iの方針に従わなければならない(以下省略)」と規定されています。

日本発の親睦グループとして唯一「ロータリー囲碁同好会」(Go Playing Fellowship of Rotarians=G P F R)があります。

このロータリー親睦活動月間の機会に、日本のロータリアンにとって馴染みの薄いプログラムであります。先述の通りスポーツ・趣味・職業上の関心等々の中から、適当なプログラムを検討いただくことも有用なことかと思えます。そして、趣味を通じ国際的な親睦の友好奉仕が深まればと思う次第です。